

今年も年末を迎え一年を振り返る時期になりました。また新年の目標や抱負を立てる人も多いでしょう。この振り返りと目標や抱負に、人権のことを入れる人がどれだけいるのでしょうか？私たちは一人では決して生きられません。人権感覚を磨くこと、人権意識を持つことは、とても大切です。「一年の計は元旦にあり」ぜひ、人権感覚、人権意識の抱負をたて、新しい年をスタートしてください。



## “いじめ”に気づけるクラスになろう！

日本の小中学生で「いじめ」(被害・加害)の経験がある子どもはどれくらいの割合でいるのでしょうか？国立教育政策研究所による「いじめ追跡調査」の結果(2021年)によると、「いじめ被害経験：8割程度、いじめ加害経験：7割程度」とのこと。相当な割合で、被害や加害の経験があることが分かりました。

いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子にも起こりうる、子どもたちにとって最も身近で深刻な問題です。子ども同士の「いじめ」は、教師がいない処で起きることが多く、クラスメートが早期に友達のいじめに気づき、傍観者にならず適切に対処できるようになることが大切です。

そのためにまずは、子どもたちが「相手が嫌がることをするのは全て“いじめ”」「自分が人から大切にしてもらいたければ、自分も人を傷つけてはいけない」といった人権意識をしっかりと自覚することが、いじめ防止教育の基本ではないでしょうか。

山梨大学(教育学部)准教授の田中健史朗さんは、今年12月6日の放送大学公開講座(いじめの心理学から考える)の中で、「修復的対話」を行うことの重要性を強調されました。修復的対話とは、多様な人々の間にある違いと共通性に耳を傾け、お互いの理解を深め、つながりを生み出すプロセスを指します。

そのポイントとして、

- 1 「他にできることはなかったのか」を考える。
- 2 他にできることをやってみたら、「どのような結果になるか」について話し合いをする。
- 3 傍観者も含めて、クラス全員が、学校全体が、それぞれできることはないか考える！  
⇒誰かが傷ついたのであれば、みんなが立ち止まる。
- 4 話し合ったことを実行できるように、必要なことを考えて、できることから取り組む。

を挙げています。

講師の田中さんは具体的な実践例として、弁護士の國松里美さんが東京都内の大妻中野中学校で行った授業の様子を、NHKの動画サイト(※1)で紹介されました。この授業では、女子5人仲よしグループで起きたという仮定の事例(DVDの貸し借りを巡るトラブル)を紹介しつつ、上記のポイントを踏まえた適切な対処の仕方を生徒との対話を通じて見出していきます。

このような、いじめの傍観者も交えた建設的な対話の機会が、教育や子育ての現場で広まってほしいと願っています。



(※1) NHK for School “いじめをノックアウト”中の「いじめを気づけるクラスになろう！」(動画)  
[https://edu.web.nhk.school/watch/bangumi/?das\\_id=D0005170374\\_00000](https://edu.web.nhk.school/watch/bangumi/?das_id=D0005170374_00000)



※ NHK「いじめをノックアウト」サイトでは、いじめ防止教育に役立つ数多くの動画(各・約10分)を視聴することができます。  
<https://edu.web.nhk.school/tokatsu/ijimezero/>



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

## 活動報告

**人権啓発パネル展** 12月3日(水)～12月16日(火) 甲府市北公民館、甲府市南公民館において、人権啓発パネル展を開催しました。

**人権移動教室** 11月29日(土) 甲府市立上条中学校、12月18日(木) 甲府市立甲運小学校、12月19日(金) 甲府市立湯田小学校において、人権移動教室を開催しました。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史  
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

山梨県内小学校六年生女子

人権とは「命」と「幸せ」を大切にすることだ。人の権利で一人一人が暮らしているものだと知り、死にたくないと思っ、ていて、自分からこそあるものなんだと思、ました。でも、自分さえ幸せになれ、はい、とは絶対に考えたらいけないと思、います。なぜなら、自分はもちろん幸せになれない、さらに周りに、いやな事が起きるから、です。それは、思いやりをもたない人が出てきて、しまうことで、日本中、世界中の、たくさんの人々、と、たがいに、幸せで、いられないから、です。映像に、いた、MSFの人達は、自分が、もし、かしたら、苦しい、思い、を、して、しまう、かも、し、れ、ない、の、に、他の、苦、し、い、で、い、る、人、達、を、助、け、て、い、て、な、ん、て、素、晴、ら、し、い、の、だ、ら、う、と、思、い、ま、し、た、。け、れ、ど、よく、考、え、て、み、た、ら、私、達、も、同、じ、立、場、に、い、る、の、で、は、な、い、か、と、思、い、ま、し、た、。身、近、に、い、る、人、の、気、持、ち、を、考、え、て、過、ご、す、こ、と、が、思、い、や、り、に、な、り、た、が、い、に、気、持、ち、良、く、い、ら、れ、る、た、め、。そ、れ、が、今、の、私、に、大、事、な、事、だ、と、思、い、ま、す、。

人権教育を学んで  
私は、「人権」という言葉は前から知、て、いた、け、ど、む、お、か、し、さ、う、で、意、味、を、知、ら、う、と、思、た、こ、と、が、あ、り、ま、せ、ん、で、し、た、。し、か、し、今、回、の、人、権、に、つ、い、て、の、お、話、を、通、し、て、前、よ、り、く、わ、し、く、な、る、こ、と、が、で、き、ま、し、た、。そ、の、中、で、も、特、に、心、に、残、り、た、こ、と、が、2、つ、あ、り、ま、す、。  
一つ目は、自分の知らない所で戦争をして、いる人たちがいて、その人達を助ける人が、いる、と、い、う、こ、と、で、す、。戦、争、で、亡、く、な、り、た、人、や、MSFの、人、が、救、助、し、て、い、る、場、面、を、見、て、い、る、時、は、と、も、感、動、し、た、と、同、時、に、驚、き、ま、し、た、。  
二つ目は、自分は知らない所で、たくさん、の、人、に、支、え、が、ら、れ、て、い、る、と、い、う、こ、と、で、す、。確、か、に、日、本、の、水、が、き、れ、い、な、の、も、道、路、が、整、え、ら、れ、て、い、る、の、も、コ、ン、口、か、ら、火、が、出、る、の、も、当、た、り、前、だ、と、思、っ、て、い、た、け、し、も、そ、こ、に、は、だ、れ、か、の、努、力、が、あ、る、ん、だ、な、あ、と、い、う、こ、と、を、改、め、て、自、覚、で、き、ま、し、た、。

「人権とは、人が生きて、しあわせになるためのもの」ということを、これから、も、し、か、り、た、め、に、頭、に、入、れ、て、生、き、て、い、き、た、い、で、す、。